

国際経済論特講 II

選択 2単位

郭 四志

1. 授業の概要(ねらい)

院生段階では、国際経済及び中国・新興国経済に関する理論・知識を学ぶと同時に、理論・知識を使い、的確に問題発見、調査・分析及び研究能力を養うことが大切である。前期では、マクロとミクロという両サイドから、常に国際経済・中国をはじめとする新興国経済を分析、研究し、学生たちと一緒に討議しながら、講義を進める。

2. 授業の到達目標

的確に問題発見、調査・研究能力を養う。

3. 成績評価の方法および基準

レポート。

4. 教科書・参考文献

教科書

配布プリントなど。参考文献・参考資料は、授業の第1回目に、紹介する。

5. 準備学修の内容

自分の研究(修論など)を中心に資料収集・調査・研究を進めてほしい。

6. その他履修上の注意事項

マクロとミクロという両サイドから、常に国際経済・新興国経済や産業・企業などの主要問題・動きを把握し、分析すべきである。積極的に発言・討議してほしい。

7. 授業内容

- 【第1回】 後期学習プラン及び院生としての資料収集・調査研究方法及び論文準備・作成の進め方
- 【第2回】 欧州経済とゆくえ及びその中国・日本経済への影響
- 【第3回】 米中貿易摩擦・対立と世界経済への影響
- 【第4回】 世界の直接投資とクロスボーダM&A
- 【第5回】 日本の経常収支の動向及びその日本経済への影響
- 【第6回】 日本の対中国・アジア直接投資と現地事業活動
- 【第7回】 新時代の日中経済関係と問題点及び今後のゆくえ
- 【第8回】 活発しつつある中国の対外・対日直接投資・M&A
- 【第9回】 外部専門家による特別講義
- 【第10回】 アフリカ経済の光と影(筆者のアフリカ現地調査(2009～2015年)について)
- 【第11回】 地球温暖化・人工・資源問題の世界経済への影響
- 【第12回】 金融資本主義の現状・ゆくえ
- 【第13回】 多極化しつつある世界政治経済秩序の変化とその展望
- 【第14回】 まとめ・質疑
- 【第15回】 国際経済に関する新しい動き(LMS)